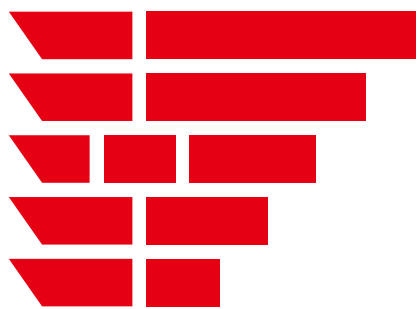




福につながれ、広告。

Japan Advertising Federation in

FUKUI 2025

第73回

全日本広告連盟福井大会

2025.5.15(木)－16(金)

大会報告書

主催

第73回全日本広告連盟福井大会組織委員会
公益社団法人 全日本広告連盟

日時

2025年5月15日(木)～16日(金)

会場

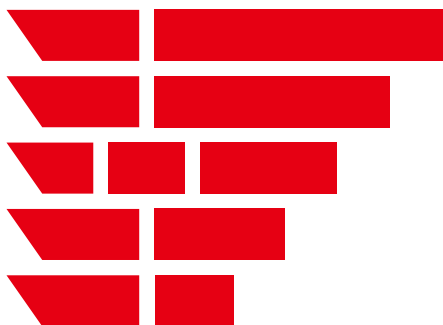
大会式典・記念講演……………フェニックス・プラザ

懇親会……………ザ・グランユアーズフクイ

第73回全日本広告連盟福井大会は5月15、16の両日、福井市のフェニックス・プラザを主会場に行われました。「福につながれ、広告。」をテーマに全国の広告関係者らが一堂に会し、幸福を感じとれる広告について考えました。



福につながれ、広告。



Japan Advertising Federation in
FUKUI 2025

大会テーマ

言葉とデザインという服をまとい
そこに吹く時代の風を感じとる
伝えたい思いを含ませて
笑顔がふくらむメッセージを考える
幸福につながる広告とは…
福がある街、福井で考えます

福につながれ、広告。

■ デザインコンセプト

幸せを感じる暖色のラインが集まりふくいの[F]を表現。

ラインの隙間は、これからつながろうとする人と人、地域と地域を表し、その形は幸福の[幸]の文字になっています。

北陸新幹線が福井につながり、たくさんの出会いが生まれています。

人やモノとの出会いをつくるすべての広告活動が、暮らしを豊かに、幸福につながるものでありますように。そんな願いを込めています。

1日目

5月15日(木)

13:00 総合受付

14:00 オープニング・大会式典

■ 開会宣言

全日本広告連盟福井大会 大会長
八木 誠一郎

■ 歓迎挨拶

全日本広告連盟福井大会 実行委員長
吉田 真士

■ 大会挨拶

全日本広告連盟 理事長
大平 明

■ 来賓祝辞

福井県知事 福井市長
杉本 達治 様 西行 茂 様

14:25 第13回全広連日本宣伝賞 表彰

14:45 第4回鈴木三郎助全広連地域広告大賞 表彰

15:10 次期開催地プレゼンテーション 静岡県広告協会

15:15 休憩 ハーブ&マリンバ演奏

15:30 大会記念講演

講演テーマ 「脳科学からみた幸福感と広告のはたらき」

講 師 中野信子氏

16:30 福井大会からのメッセージ《エンディング》 男声合唱団ゴールデンエイジふくい

16:45 終了

18:00 懇親会《ホテルフジタ福井 ザ・グランユアーズフクイにて》

2日目

5月16日(金)

■ エクスカーション

■ 親睦ゴルフ

開会宣言

第73回全日本広告連盟福井大会
大会長

八木 誠一郎



歓迎挨拶

第73回全日本広告連盟
福井大会実行委員長

吉田 真士



大会挨拶

公益社団法人
全日本広告連盟理事長

大平 明



全日本広告連盟大会を福井県で開催させていただくのは、今回が初めてとなります。昨年、北陸新幹線が延伸し、福井のまちが大きく変わっている最中です。福井駅に降り立った皆様は、その活気を感じていただけたのではないのでしょうか。交通の便が良くなったことに加え、多くのメディアが福井県を取り上げてくださったことが活気につながり、メディアの力、広告の力を改めて実感する機会となりました。

今大会のテーマは、「福につながれ、広告。」です。福井県は都道府県の幸福度ランキングで12年連続トップに選ばれております。この地で、広告がもたらす幸福感について参加者の皆様と考えを巡らすことに期待をしております。日本宣伝賞をはじめとする、受賞者の皆様やその作品は世の中に多くの福を届けてくれました。また、脳科学者の中野信子さんによる「脳科学からみた幸福感と広告のはたらき」と題した基調講演では、広告の力で社会を幸せにするための気づきが得られると考えております。

大会事務局の負担を減らし、さらに開催地がより幸福になるよう大会全体のデジタル化や簡素化にチャレンジしています。デジタル地域通貨を懇親会不参加の方々にお渡しし、お帰りの際にお土産を購入していただくことで、地域貢献の仕掛けをしています。本大会を通じて福井を満喫し、幸福につながるきっかけをお持ち帰りいただければ幸いです。

第73回全日本広告連盟福井大会にご参集いただき、誠にありがとうございます。

福井の地は、2000年前から栄えてきた歴史あるまちでございます。1500年前には、継体天皇がこの地から大和へ移り、天皇を中心とする天皇制を守り続けることができました。1000年前には紫式部が越前市に1年余滞在し、その経験が『源氏物語』の執筆につながったとされています。500年前には、朝倉氏がこの地を治め、北の京都と呼ばれる豊かな文化を築くなど素晴らしい歴史をもっています。また、3,000m級の白山や越前がにが獲れる越前海岸、農業の生産性が非常に高い福井平野など自然も豊かです。一方で、繊維工業を中心とした堅実な産業基盤を有しております。さらに、原子力をはじめとする電力施設も充実し、新たな産業を呼び込むことができる体制が整っています。このように、福井は産業と農業のバランスがうまく取れていて都市と農村が一体化しているように見えます。そして、子どもの学力や体力、健康寿命も全国トップレベルという実績を誇ります。

この地で、なぜ幸福度が高いのかを見て、感じとっていただきたいと思います。広告を発信する人も受け取る人も、双方が幸せになる広告とは何かを議論しているところでございます。そうした観点から、広告のあるべき姿を皆様と考え、作り上げていただきたいと思います。

来賓祝辞



福井県知事

杉本 達治 様

広告とは、新しい文化や価値を作るものだと思います。また、地域活性化においても広告は大きな役割を果たしています。昨年の北陸新幹線福井・敦賀開業の際は、JR様をはじめ、メディアや広告業界がさまざまな形で福井県を取り上げて下さったことにより、多くのお客様にお越しいただきました。今も開業前よりたくさんのお客様においでいただいております、改めて広告の力を実感いたしました。

福井県では北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、「地味にすごい、福井」というキャッチコピーを考えました。このコピーは広く公募し、県民の皆様を選んでいただきましたが、ユニークで良いコピーだと感じています。また、開業が近づく頃、ある雑誌で「知られざる福井へ」というタイトルを見かけ、興味をそそられました。言葉の選び方や使い方ひとつで、見る人の心をワクワクさせる。これこそ広告だと感じさせられました。

最近では、広告を届ける媒体が大きく変わりつつあります。主軸がSNSへと移る中、広告は商品やサービスの中身を単に伝えるだけでなく、その内容と質がより問われるようになってきました。SNSでは他との違いを際立たせるような手法が見られますが、本来の広告の本質とは違うのではないのでしょうか。今大会のテーマ「福につながれ、広告。」のように、皆様には広告のポリシーや基準を大切に、新たな価値を正しく伝える広告を追求していただきたいと思っております。



福井市長

西行 茂 様

(代理 荒木 一男様)

昨年3月に北陸新幹線が延伸し、官民を挙げて商業施設やオフィスの集積、観光地の磨き上げに努めて参りました。その結果、市外・県外から多くのお客様にお越しいただけるようになり、投資も引き続き行われています。本年1月1日時点の路線価は、前年に比べて9%上昇し、全国でも有数の伸び率となりました。今、地方都市の中でもポテンシャルが高いのは福井市だと自負しております。しかし、ホテルや若者の遊び場の不足、地域公共交通や介護福祉の面にも社会課題がまだまだ残っています。

民間企業の方々にとって、このような課題は大きなビジネスチャンスでもあります。福井は可能性を秘めたマーケットであり、社会課題解決型ビジネスのネタが豊富にある「いまが買い」のまちです。本日ご参加の皆様には福井市をご覧いただき、ビジネスのヒントがあれば、ぜひご相談ください。我々が公共政策とうまくつなぎ、官民共創で取り組んでみたいと考えております。

最後になりますが、広告業界はSNSの台頭により、広告と広報の融合やPESOモデルと言われるようなメディアミックスが求められていると伺っております。単に広告を販売するだけの時代ではなく、企業の戦略立案から人材育成、マーケティングまで、経営課題を一点に一貫して解決するコンサルティング的な役割も期待されています。この大会が皆様の課題解決の一助となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

第13回全広連日本宣伝賞

松下賞

ダイキン工業株式会社
名誉会長

井上 礼之 様

同志社大学経済学部卒業。1994年ダイキン工業株式会社代表取締役社長に就任、2002年代表取締役会長兼CEO。ダイキン工業現代美術振興財団理事長、関西フィルハーモニー管弦楽団理事長等を歴任。2019年旭日重光章を受章。社長就任時に約4千億円だった同社の売上高を4兆円超に押し上げ、積極的な広告展開の他、今年で38回を数える「ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」など、スポーツやエンターテインメントに対するスポンサー活動を長年幅広く実施。環境保護やエネルギー効率を重視する企業として環境に優しい製品等を訴求するキャンペーンを展開、環境を意識した広告制作の重要性を示した。1997年から続くドア上広告活動や、2016年からは「空気で答えを出す会社」というビジョンを打ち出し継続して広告活動を実施するなど、ブランドイメージの構築や社会的課題への対応を通じて、広告が持つ可能性を広げる役割を率先して果たしてきた点が高く評価された。



正力賞

株式会社河北新報社
代表取締役社長

一力 雅彦 様

宮城県仙台市出身。1986年河北新報社入社、2005年より現職。(公社)ACジャパン副理事長、(一社)日本新聞協会理事、東北経済連合会副会長。2021年「東日本大震災10年」と題して様々な特集を展開し、新聞協会賞を受賞。翌年には特集をまとめた単行本『復興を生きる 東日本大震災 被災地からの声』(河北新報社編集局編)として出版した。社には「不覇独立 東北復興」を掲げ、「東北の飛躍のための新聞」を主張し、中央からではなく東北の地から地域密着型の情報発信を絶え間なく続けている。地域連携が東北の未来を拓くとして、東北各県との地域連携を推進。地域イベントやデジタル媒体を活用した広告展開を進めることで、地域企業や全国規模の広告主に多様な選択肢を提供し、広告を単なるプロモーション手段ではなく、地域社会の課題解決やブランディングに役立つものとして位置づけた。特に東日本大震災後に、復興のための情報発信に積極的に取り組み、特別広告企画「今できることプロジェクト」を立ち上げ、企業や自治体が広告を通じて支援活動や復興メッセージを発信する場を提供。同社を広告界において重要な存在とし、その発展を牽引した点が高く評価された。



吉田賞

株式会社新東通信
代表取締役会長

谷 喜久郎 様

名城大学法学部卒業。創業者として1972年株式会社新東通信を設立。1980年名古屋オリンピック誘致を掲げて「名古屋シティマラソン」企画運営、1989年世界デザイン博・名古屋城会場「ガウディの城」企画運営、2001年地域広告会社コンソーシアムとしてメシス株式会社を設立、2005年「愛・地球博」では誘致活動から参加し、各パビリオン、イベントを企画運営。2006年スペイン国王よりアルフォンソ十世勲章、2016年旭日双光章とスペイン・カタルーニャ州政府よりサン・ジョルディ十字勲章、2023年世界最古(創設800余年)のスペイン・サラマンカ大学より世界初の国際功労賞を受賞。同社は現在、愛知県に本社を置く独立系の総合広告会社として全国で取扱額1位に位置し、「地方と共生共栄して、地方を元気にする」ことを目標に掲げ、活動を展開している。ローカルの個性と独立性を活かし、都市型シティマラソンの先駆けとなる名古屋シティマラソンの開催や名古屋城の活性化など、名古屋市を中心とした地域創生に積極的に取り組んでいる。またフリスビーの普及や「サン・ジョルディの日」キャンペーンなど、愛知県から日本全国、そして世界に向けて人の心を動かす仕事を次々と打ち出す。広告界の第一線を永年走り続けている、その功績が高く評価された。



山名賞

TSTJ Inc.
代表アートディレクター

奥村 靱正 様

桑沢デザイン研究所卒業。1970年WORKSHOP MU!! 設立に参加。はっぴいえんど、細野晴臣、大瀧詠一のレコードジャケットを手がける。1977年ザ・ステューディオ・トウキョウ・ジャパン(現TSTJ Inc.)設立。YMO、加藤和彦、山下達郎、佐野元春、ムーンライダーズ、チェッカーズ等のアートディレクションを担当。他にも、広告、書籍、雑誌など、活動のフィールドを広げる。1980年代より日本画の様式やMacintoshを用いたグラフィック作品を発表。1982年からADC賞を4回受賞。2014年ADC会員賞受賞。2005年女子美術大学芸術学部ヴィジュアルデザイン専攻教授に就任、2014年より客員教授。神戸芸術工科大学客員教授、東京TDC、JAGDA会員。2023年に『奥村靱正作品集』(グラフィック社)を発表。そのアーティストやアートディレクターとしての長年にわたる多彩な創作活動が高く評価された。



第13回全広連日本宣伝賞 受賞者謝辞

松下賞

ダイキン工業株式会社 名誉会長 井上 礼之 様（代理：水口 知洋様）

井上は常に、「過去の成功にとらわれず挑戦と実行を続けよう」「チャレンジャーこそ多くのチャンスをつかむ」と社内で言い続けてきました。その精神は、我々社員にも受け継がれ広告活動にも脈々と流れています。特に「ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」は、単なるスポンサー活動にとどまらず、開催地沖縄と本土の交流、徹底したホスピタリティを基軸に、琉球放送様と長年取り組んできました。弊社は「空気で答えを出す会社」というビジョンの下、環境やエネルギーといった社会課題に向き合い、広告という形で誠実に表現して参りました。今回の受賞は井上個人の栄誉であると同時に、各広告会社をはじめとする多くのパートナーや広告のプロフェッショナルな皆様のお力添えがあってこそこの成果です。この喜びを分かち合い、改めて御礼を申し上げるとともに、この賞を励みに、今後とも広告を通じて社会貢献活動に取り組んで参ります。



株式会社河北新報社 代表取締役社長 一力 雅彦 様

東日本大震災の翌年から始めた「今できることプロジェクト」は、被災地を応援する広告企画です。趣旨に賛同した企業と市民が、現在もさまざまな活動に取り組んでおり、実際に被災地を訪れ、実情を学びながら紙面やSNS等で発信しています。支援の輪は全国に広がり、最近では震災未経験の中学生が記者として現地取材し、それを「震災伝承新聞」という広告面で被災地の現状を伝えています。「復興を後押ししよう」というみんなの気持ちが、広告という形で一つになりました。今回の受賞は、皆様の多大なご支援をいただきながら、復興のための情報発信に取り組んできた河北新報社を代表していただいたもので、大変誇りに思っております。このプロジェクトを継続できたのも、人と人、地域と地域をつなげる広告の力によるものです。今後もこの力を信じて、復興から伝承へ、震災の記憶と教訓をつなぎ、地域再生の歩みを応援していきます。

正力賞

株式会社新東通信 代表取締役会長 谷 喜久郎 様

まずは、福井広告協会の皆様や全日本広告連盟の皆様へ御礼申し上げます。小学生の頃、福井には臨海学校で3年ほど訪れたことがあります。久しぶりにこの地に来て、水田や山の多さ、地酒の美味しさに驚きながらも楽しませていただきました。私は、1963年から1枠1万円で連合広告を集める「飛び込み営業」をしていました。そこから時代は進み、IT、SNS、生成AIなど新しい技術が多く生まれました。私の世代は、「デジタル難民」と呼ばれていますが、時代の変化に合わせていかなくてはならないと思うと同時に、こうして長い間、広告業界を生き抜いて来たことを誇りに思います。最後に、拙いながらも私の短歌を一首。「幾重にも厚き壁にも咲く桜、夢志し、一筋の道」。ありがとうございました。



吉田賞

TSTJ Inc. 代表アートディレクター 奥村 鞞正 様

私が起業したのは、1970年大阪万博が開催された年です。当時は未来志向が強い社会で、商社から出資を受け会社を設立しました。しかし、ほどなくしてオイルショックが起こり、仕事がほとんどなくなるという厳しい状況に直面しました。それ以降も、さまざまな社会変化が起こりましたが、広告という概念を軸に、音楽やアートなど新たなジャンルを表現に取り込むことで55年にわたるキャリアを築くことができました。これまで活動できたのは、支えてくださった多くの企業の皆様やスタッフの皆様のご協力もあってのことだと思っています。「令和の米騒動」など、現在も課題は山積みですが、日本はこれからも各地域で英知を駆使しながら課題を乗り越え生き抜いていくのだろうと、福井の豊かな田園風景を見て感じました。本日は、このような幸福度の高い一日を過ごさせていただき、誠にありがとうございました。

山名賞



第4回鈴木三郎助全広連地域広告大賞

最優秀賞およびキャンペーン部門賞

受賞者

佐賀県

受賞作

ゴジラ^{ついで}対サガ

(動画・ポスター・SNS・イベント・SPツール・OOH)

推薦協会

福岡広告協会

受賞理由

佐賀県は歴史、グルメ、エンタメなど多様な魅力があるにも関わらず、その魅力が国内においても十分に伝わっておらず、佐賀県ならではのプロモーション方法を模索していた。

そのような中、県のかたちが日本が世界に誇るスーパー大怪獣「ゴジラ」とほぼ同じであることを発見。ゴジラ生誕70周年の記念イヤーということもあり、ゴジラを世界初の「かたち観光大使」に任命した。大使に任命する動画・ビジュアルを公開するとともに、ゴジラと県知事でPR発表会を実施。また、ケルヒージャパン株式会社協力のもと、佐賀県内の岩屋川内ダムの壁面をキャンバスに、高圧洗浄機を用いてゴジラの巨大アートを制作。そのほか、県庁展望ホールでのインスタレーションやスタンプラリー、グリーティングイベントなど様々なプロモーションを展開した。これらの取組みは、メディア露出広告費換算約11.5億円、Xリーチ49,206,296、岩屋川内ダム来場者数は約2カ月で21,696人(前年比400倍)を記録するなど、大きな成果を生み、県の魅力を発信することに貢献した。

「かたち」という共通点に絞る大胆かつユニークな企画に振り切り、勢いとスピード感のあるコミュニケーション設計で、話題を喚起し、目標である観光客誘致という成果を大きく上げた点が高く評価された。



受賞者謝辞

佐賀県知事 山口 祥義 様



本日は、知事ではなく受賞者としてご挨拶の機会をいただき、大変光栄に思います。ご協力いただいた関係者の皆様には、心より御礼申し上げます。

今回の「ゴジラ^{ついで}対サガ」プロジェクトは、佐賀県の形がゴジラに似ている点に着目したことから始まりました。当初、「かたち観光大使」というのをどう展開するか悩みました。クリエイターやデザイナーと協議を重ね、最も大きな反響を得たアイデアがダムアートです。県職員が「ダムにゴジラの巨大アートを描きたい」とケルヒージャパン株式会社に提案する際、正式な許諾を得るまでは「ゴジラ」という名称を伏せる必要があり、交渉は難航しました。それでも熱

意を伝え続けた結果、協力していただき、実現に至りました。

このコラボレーションは、情報発信による地方創生プロジェクト「サガプライズ!」の第40弾として実施したもので、これまでの成功の蓄積と考えています。私たちが大切にしているのは、県と企業がWin-Winの関係を築くことです。また、県の中に「さがデザイン」という部署を置き、政策の質向上にも努めています。

今後も佐賀県の魅力を発信し続け、近いうちに皆様を佐賀県にお迎えできたら、と思います。結びに、全日本広告連盟のますますのご発展をお祈り申し上げます。

第4回鈴木三郎助全広連地域広告大賞



■ プリント部門賞

受賞者 株式会社 秋田魁新報社
受賞作 あきた弁博特集（新聞・WEBサイト・音声）
推薦協会 秋田広告協会

■ チャレンジ部門賞

受賞者 ない株式会社・株式会社 CHAHANG
受賞作 裏がある京都人のいけずステッカー（ステッカー）
推薦協会 京都広告協会

■ プリント部門賞

受賞者 広島空港振興協議会
受賞作 冬の牡蠣休暇いただきます。（ポスター）
推薦協会 広島広告協会

■ チャレンジ部門賞

受賞者 金城学院大学
受賞作 説明が長い料理店（ポスター・イベント）
推薦協会 愛知広告協会

■ フィルム・オーディオ部門賞

受賞者 株式会社長倉製作所
受賞作 「ロゴマーク」篇・「ホームページ」篇・「メタル
フォーミング」篇（CM）
推薦協会 静岡県広告協会

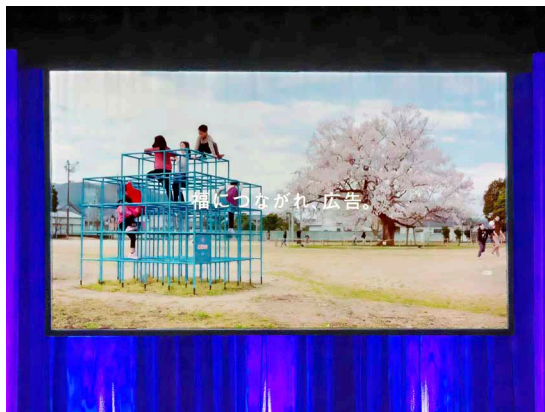
■ キャンペーン部門賞

受賞者 株式会社 秋田魁新報社
受賞作 創刊150年「読者に向けた感謝の花」「秋田魁
新報と、みんなが周年。」特集（新聞・動画）
推薦協会 秋田広告協会

■ フィルム・オーディオ部門賞

受賞者 株式会社五ヶ瀬ハイランド
受賞作 五ヶ瀬ハイランドスキー場2025シーズンCM
「帰ってきた南ちゃん」（WEB動画）
推薦協会 福岡広告協会

■ 式典風景



オープニング映像



開会を宣言する八木誠一郎大会長



司会を務めたFBC 福井放送アナウンサーの酒井拓海さん(左)と坂田茉世さん(右)



広告界の発展に貢献した人物に贈られる全広連日本宣伝賞の表彰式



男声合唱団「ゴールデンエイジふくい」が合唱を披露

次期開催地プレゼンテーション



静岡県広告協会 会長

大須賀 紳晃 様

この度、2026年の第74回全日本広告連盟大会を静岡県で開催させていただくことになりました。2010年以来、3回目となります。次期大会のテーマは「広告の可能性は十人十色」です。広告の役割は、単に情報を「知らせる」ことから、「繋げる」「続ける」、そして「育てる」「進める」へと進化を続けています。しかもそのスピードは、私たちの想像をはるかに超えるものです。広告という概念を俯瞰的に捉え、私たちが何をすべきか富士の国で皆様と共に考えて参ります。

静岡県は、日本列島のほぼ中央に位置しており、太平洋の海岸線は約155km、静岡市・浜松市の2つの政令指定都市を抱え、人口は約350万人です。大会を開催する5月には、新茶、あるいは初ガツオ、マグロそしてシラス、駿河湾の桜エビなど美味しい食べ物が獲れます。また、磯自慢酒造に代表される数々の銘酒で皆様方をお迎えしたいと考えております。

ぜひ、今年同様たくさんの方々にご参加いただきたいと思います。1年後に、静岡県でお待ちしております。

■ 講演テーマ 脳科学からみた 幸福感と広告のはたらき

■ 講師 中野 信子 氏

プロフィール

脳科学者 / 医学博士 / 認知科学者
東日本国際大学教授 / 京都芸術大
学客員教授 / 森美術館理事

出身地

東京都

経歴

1998年東京大学工学部応用化学科卒業、2008年東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻博士課程修了。2008年フランス国立研究所にて博士研究員として勤務。2010年帰国。研究・執筆を中心に活動。2015年東日本国際大学教授に就任、2020年京都芸術大学客員教授に就任、2022年森美術館理事就任。現在、脳や心理学をテーマに研究や執筆の活動を精力的に行っている。科学の視点から人間社会で起こりうる現象及び人物を読み解く語り口に定評がある。



福井県は「幸福度ランキング」で常に上位ですが、毎年発表される「世界幸福度ランキング」では、日本の順位は年々下がる傾向にあります。その幸福度を測るのに用いられるのが、1人当たり国内総生産（GDP）などの客観的指標と、社会の寛容度といった主観的な指標です。ここでは主に主観的な幸福度について、脳科学の観点から考えてみたいと思います。

快楽を与える物質として知られているドーパミンは、報酬誤差予測から生じます。予測と報酬の誤差、つまり「期待に対してどれだけ大きな報酬を得られたか」で快楽を感じるメカニズムです。満足感を得るには、報酬を予測するというプロセスが必要になるといえます。

予測とは未来を語ることでありますが、未来は存在しないので作り話をせざるを得ません。すなわち人間とはうそをつく生き物です。エンタメを見ると分かるように、人間は退屈な本当よりも、魅力的なうその方が楽しいと思うようにできています。不確実な未来に踏み出していく私たちには、大きな報酬が得られるであろう未来をどれだけ魅力的に形づくれるかが試されています。それが生成AIはできない、人間に残されたクリエイティビティ（創造性）の最後の砦かもしれません。

幸せな未来を構想する人間ならではの力は、^{いしえ}はるか古から^{けじょう}発揮されてきました。仏教用語の「化城」は、幻の城のこと。砂漠を歩く集団のリーダーが、一行のために幻の城をつくり、そこには食べ物も水もあってみな癒されます。翌朝、城は形も

なく消えてしまいますが、私たちの目指すゴールはこの城以上に素晴らしいものだと、一行を鼓舞するのです。このたとえばは、未来の大きな報酬を描いて幸せを感じさせるというドーパミンのメカニズムを上手に使っています。

予測不可能な現代を生きる私たちは、砂漠を歩く集団のようなもの。リーダーにはみんなに大きな夢を見せる力が必要です。その非常に重要なスキルは、みなさんの豊富な経験値が土台になります。

近年、マイクロマーケティングが台頭し、賛否を呼んでいます。心理学で使われている「ビッグファイブ」という尺度で個人の性格をクラスター分けし、ターゲティング広告を出すマーケティング手法で、アメリカ大統領選挙におけるトランプ氏当選を後押ししたとまことしやかにささやかれています。

マイクロマーケティングはとても効率的である一方、クラスター間や世代間の分断を招きかねません。人によって見ている広告や記事が異なるため、会話がまったくかみ合わないという事態が起こり得ます。しかし、私たちは自分から分断したいわけでは決してありません。分断をどう防ぐのかなど、幸せな未来を予測する上で、全広連の全国大会のような意見交換の場は大変貴重です。こうして顔をつき合わせてこそ、オンラインの画面越しでは伝わらない人間の機微を感じ取ることができます。またどこかでみなさんとお会いできる機会を楽しみにしています。

■ 大会スケッチ①



テーマサインボード



第13回全広連日本宣伝賞受賞者の略歴と功績を紹介するコーナー



式典会場では全国の広告関係者が交流を深めた



最優秀賞作品 佐賀県の「ゴジラ^{ついで}対サガ」



全国から広告関係者が集い、総入場者数は1,000人



式典では地元アーティストによるハープとマリンバの演奏が披露された

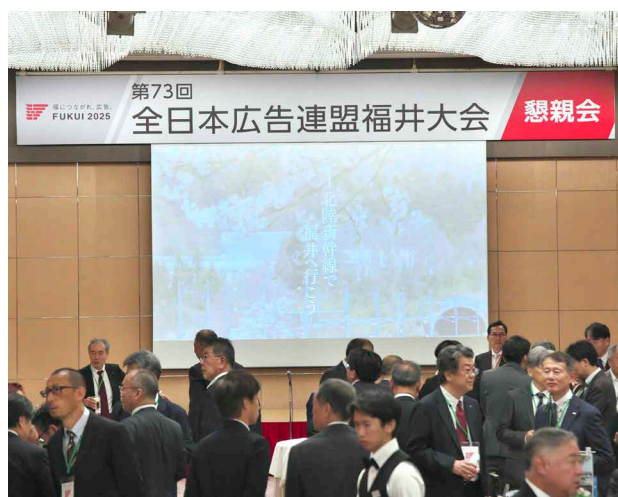
■ 大会スケッチ②



懇親会にはソースカツ丼や焼き鳥など、福井のソウルフードが勢ぞろい



司会は福井テレビアナウンサーの福山千奈さん(左)と佐々木拓哉さん(右)



懇親会会場の様子



福井の美味を堪能する参加者



吉田真士実行委員長による乾杯の挨拶



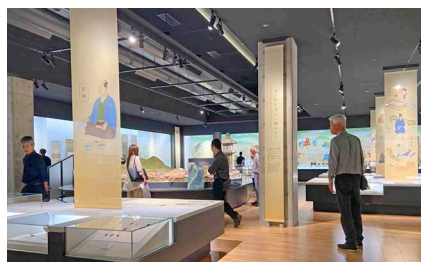
和やかな雰囲気の中、参加者は親交を深めた

エクスカーショ

EXCURSION

国の名勝に指定される東尋坊や曹洞宗の大本山永平寺。迫力満点の福井県立恐竜博物館に爽快な景色を堪能できる三方五湖、歴史好きにはたまらない一乗谷朝倉氏遺跡など、越前若狭の魅力を短時間で楽しめる全3コースを厳選しました。

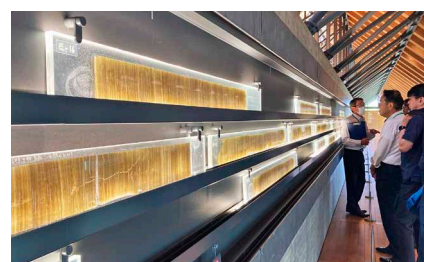
1 戦国浪漫に酔いしれる！戦国大名朝倉氏の栄枯盛衰 コース



2 人気スポット満喫！はじめての【ふくい旅】コース



3 風光明媚・三方五湖！7万年の時を超え太古のロマンを感じる コース



親睦ゴルフ

シーサイド特有の松林に囲まれた越前海岸国定公園内の芦原ゴルフクラブ・海コースにて開催。

晴天に恵まれ、19組70名がナイスショットを繰り上げました。

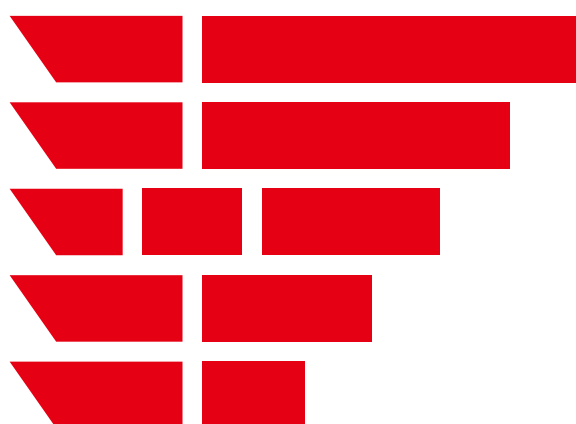


第73回 全広連福井大会 組織委員会・実行委員会

(2025年5月15日現在)

組織委員会 (大会役員)	特別顧問	杉 本 達 治	福井県知事
		西 行 茂	福井市長
	顧問	光 野 稔	福井テレビジョン放送 代表取締役会長
	大会会長	八木 誠一郎	福井県商工会議所連合会・福井商工会議所 会頭
実行委員会	大会副会長	白 崎 誠 一	福井県商工会連合会 会長
		清 川 肇	福井経済同友会 代表幹事
		稲 山 幹 夫	福井県中小企業団体中央会 会長
		山 田 義 彦	福井県観光連盟会長
	実行委員長	吉 田 真 士	福井新聞社 代表取締役社長
	実行副委員長	池 内 昭 彦	福井放送 代表取締役社長
		酒 井 美樹男	福井テレビジョン放送 代表取締役社長
		堀 謙	福井エフエム放送 代表取締役社長
		実行委員	嶋 田 浩 昌
	山 本 道 隆		福井新聞社 常務取締役営業統括本部長
	辻 橋 清 和		福井放送 常務取締役営業本部長
	森 山 茂		福井テレビジョン放送 取締役
	吉 田 保 裕		アイビックス 代表取締役社長
	小 澤 明		昭和美術印刷 代表取締役会長
	林 明 美		福井新聞社 営業事業局長
	矢 納 範 幸		福井放送 営業局長
	伊 藤 隆		福井テレビジョン放送 営業局長
	川 村 英 紀		福井エフエム放送 取締役営業部長
	堀 井 善 治		福井新聞PRセンター 取締役会長
松 山 俊 英	FBCアドサービス 代表取締役		
石塚 美貴彦	福井テレビ開発 代表取締役		
監事	藤 井 明 博		福井放送 取締役経営管理本部長
	吉 田 純 也	福井新聞PRセンター 専務取締役	
大会事務局	事務局長	林 明 美	福井新聞社 営業事業局長
	事務局次長	古 市 雅 典	福井新聞社 営業事業局部長
	総務部 部会長	鍋 島 光 貴	福井新聞社 営業事業局次長
	〃 副部会長	酒 井 敏 彦	福井新聞PRセンター 代表取締役社長
	〃 副部会長	吉 田 純 也	福井新聞PRセンター 専務取締役
	式典部会 部会長	矢 納 範 幸	福井放送 営業局長
	〃 副部会長	松 山 俊 英	FBCアドサービス 代表取締役
	〃 副部会長	笠 島 範 夫	マインドアンドサウンドライフ 代表取締役社長
	懇親部会 部会長	伊 藤 隆	福井テレビジョン放送 営業局長
	〃 副部会長	石塚 美貴彦	福井テレビ開発 代表取締役
	〃 副部会長	野 路 良 隆	ライトスタッフ 代表取締役
	〃 副部会長	佐々木 公啓	ユアーズホテルフクイ 代表取締役社長
	おもてなし部会 部会長	川 村 英 紀	福井エフエム放送 取締役営業部長
	〃 副部会長	石 黒 秀 樹	大広北陸 コミュニケーションアドバイス局 リーダー
	〃 副部会長	鈴 木 武 雄	JTB福井支店 支店長

大会登録参加者数	917人	エクスカージョン参加者数	89人
		親睦ゴルフ参加者数	70人



FUKUI 2025

福につながれ、広告。

全日本広告連盟福井大会事務局

〒910-8552 福井市大和田2丁目801(福井新聞社営業事業局内)
TEL 0776-57-5151 FAX 0776-57-5166
Email zenkoren2025@fukuishimbun.co.jp
